

一般質問発言通告書

議席番号 5 番 氏名 沖田真治

答弁を求める者 (市長) 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 消防団について

(1) 消防操法大会について

- ① 9月25日に行われた操法大会において浜田消防隊の4分団が欠場し2分団が合同で出場となった。団員の高齢化と団員の成り手不足が進んできており、やむを得ない決断だったと思われるが、今後も参加する分団が減少する可能性が高く、操法大会の意義が低下することを危惧している。市として今回の大会をどのように受け止め対応していくのかを伺う。
- ② 全国的に過度な訓練が本人や家族の負担になっているなどの意見があることから、負担軽減を目的とし、今年11月13日に県内で初めて大田市が規定を見直して操法大会が行われた。県内市町で様々な考えがあると思うが、市として操法大会の規定や審査基準についての考え方を伺う。

(2) 体制と運営について

- ① 今後も団員の高齢化と減少が進むと予想され、現状の31分団を維持していくことは困難であると考えるが、市として今後の分団数の維持についての考えを伺う。
- ② 今年度より団員の年報酬が増額となった。団員の処遇改善を図られたことは評価する。一方で全国的には団員の報酬を巡るトラブルの報道が後を絶たない。2021年4月に団員の報酬をすべての団員に直接支払うことを強く求める通知が出された。直接支払いを徹底することにはなったが、6月に東京都町田市で団員の報酬が振り込まれる

通帳を新たに団が作らせ、キャッシュカードと暗証番号を預かり、団員の承諾なくお金を引き出し運営する内容の新聞報道があり、市が調査したところ全5分団のうち3分団が同様な管理を行っていたことが判明する事案があった。

このような事例を受け、市として改めて独自調査の実施を検討されたのか、団員の報酬についての不正流用の防止やチェックはどのように行っているのか伺う。

(3) 組織力強化について

- ① 総合振興計画後期基本計画に、消防団の現状を踏まえ災害対応能力の強化のため、装備品や資機材の充実が必要とあるが、具体的な充実について伺う。

- ② 組織を強化していくうえで団員の確保が最も重要であると考ええる。

全国的に女性団員、学生消防団員の比率は上昇傾向にあり、積極的に確保に力を入れていくべきと考えるが市としての考えを伺う。

発言No.

14

受付No.

4

令和 4 年 11 月 21 日

5 時 4 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 15 番

氏名 岡 本 正 友

答弁を求める者

(口をつける)

☒ 市長

☒ 教育長

☐ 監査委員

☐ 選挙管理委員会委員長

☐ 農業委員会会長

☐ 固定資産評価審査委員会委員長

☐ 公平委員長

発言項目及び要旨

1・成年後見制度 (SDGs 3)について

(1)中核機関の成年後見制度について

① 高齢化の進展に伴う認知症の増加や、『福祉のまち浜田』においての知的及び精神障がい者の生活支援など、成年後見制度のニーズはますます高まっている。後見制度の現状認識を問う。

② 成年後見制度利用促進施策が示されている。中核機関整備状況を問う

(2)権利擁護センター等の整備について

① 成年後見制度の内容がわかりづらく活動が見えにくいと感じている。任意後見制度と法定後見人制度の仕組み及び権利擁護センターの設置の現状を問う。

② 権利擁護センターの取組として、広報や相談、利用促進、後見人支援機能が示され、施設専門職や新たな担い手としての市民後見人の養成も行うとしている。今後の展望を問う。

2・ボランティア等市民活動支援 (SDGs 4)について

(1)市民活動の拠点等の支援について

① 浜田市では市民協働の担い手である NPO 法人やボランティア団体をはじめ、スポーツや文化芸術音楽、趣味の会のほか自治会など様々な組織が、まちづくりセンターや地域集会所、寺や神社など様々な施設を利用し活動している。その活動の中で、講座やイベントの告知等に係る情報通信や印刷、又は刊行物作成への支援が課題である。認識を問う。

② 音楽関係の活動拠点の支援の状況を問う。

(2) 未来を託す若者支援について

① 市内の小、中、高校、大学では、それぞれで課題研究に取り組んでいると聞かすが、その状況を把握しているか問う。

② 若者の定住につながる施策の取組状況を問う。

発言No.

15

受付No.

10

令和 4 年 11 月 22 日

9 時 12 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 22 番

氏名 牛尾 昭

答弁を求める者

☒ 市長

教育長

監査委員

選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、 元気の出る水産業振興について

ふるさと納税寄附金額の過去を振り返って見ると、平成 20 年代後半が、浜田市のふるさと納税のピークであったように思う。当時は、参加自治体が少なく、受け皿企業も限られ、先行自治体の成功体験のみが報道されていたように思う。ここ数年は、12 億円程度で推移しており、かろうじて中・四国で 1 位であるが、今年の寄附高は前年度を下回っており、危機的な状況である。そこで以下について問う。

(1) ふるさと納税に占める水産品について

- ①ふるさと納税について、トップである市長としての戦略を問う。
- ②ここ 3 年間のデータで見ると水産品の占める割合が上がっている。さらに伸ばすための方策を問う。
- ③様々な水産物ブランド化事業が行われているが、販路開拓などの実績を問う。
- ④様々な媒体として、全国サバサミットや東京海洋大学フェスタ、八幡浜アンコウフェスタなどを知る。現地の状況を問う。
- ⑤先年、泉佐野市長と意見交換会の折、新たな特産品開発に注力していると言われた。浜田市は関係者との意見交換や商品開発をどのようにしているのか問う。

(2) 水産業者の意向調査について

- ①はまだお魚市場の仲卸業者との地域の日を経ての市長の見解を問う。
- ②はまだお魚市場の開業 1 年を経過して、仲卸業者の経営状況を問う。

(3) BB 大鍋フェスティバルについて

- ①今年度の開催状況を問う。

令和4年11月18日

12時 27分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 10 番

氏名 串崎 利行

答弁を求める者

☒ 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 農業の振興について

(1) 肥料高騰対策について

- ① 肥料高騰を受けた国の支援金は、化学肥料低減の取組を2項目以上実施する農家に対し、肥料コスト上昇分の7割を補填する。申請方法や対象者について市の状況を伺う。

(2) 土壌診断について

- ① 肥料の高騰を受け、土壌診断で過剰な成分を把握し、肥料設計を見直してコスト削減につなげるべきだが、市の考えを伺う。

- ② 無料土壌診断について、市の考えを伺う。

(3) 浜田市弥栄肉用牛改良流通センターについて

- ① 浜田市弥栄肉用牛改良流通センターは、JAしまねにおかれては、赤字経営が続く肥育センターの運営から撤退する方針を決定されている。撤退となると浜田市だけでなく、県内各地の和牛繁殖農家の経営不安、地産地消のブランドの減少など、多方面で影響する大きな問題であり、9月定例会議で一般質問をした。その後の状況を伺う。

2 ダムを生かした観光地づくりについて

- ① 浜田市には、所管は違うがダムは7つある。ダムの役割は、洪水調節・水資源の確保だが観光等にも有効に使うべきと感じている。観光ができるのか整備状況について伺う。

- ② 浜田市の面積や人口規模からすると、全国的にも7つのダムは多く感じ魅力もあると思う。ダムを生かした観光地づくりについて市の考えを伺う。

